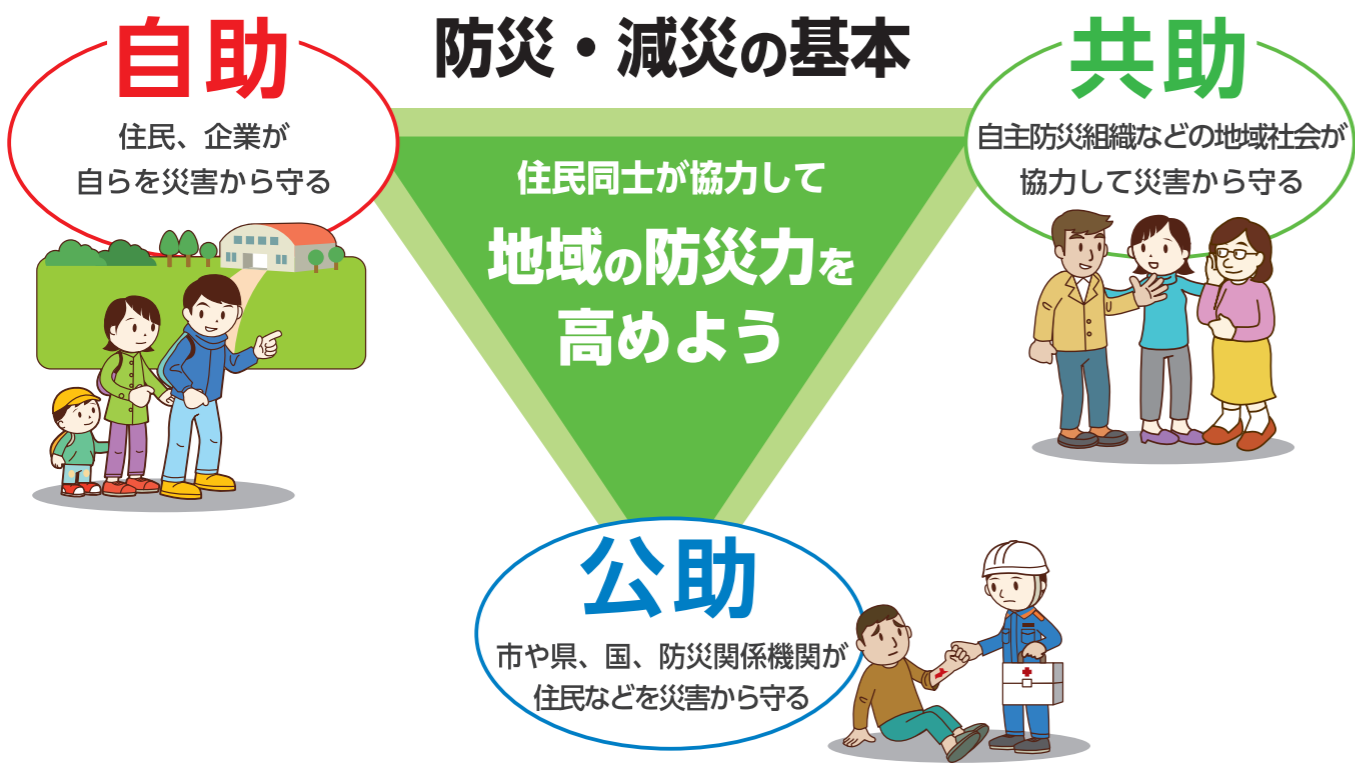


# この冊子の使い方

## はじめに

この総合防災マップは、災害のことについて「知る」・「考える」・「備える」という3つのテーマで構成されています。

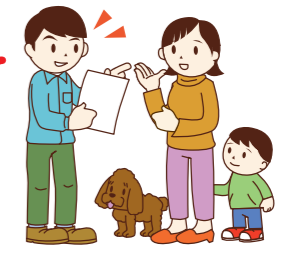
それぞれを学ぶことにより、「自分の命は、自分で守る」という「自助」の意識が高まり、地域の安全は地域で守る「共助」、行政が取り組む「公助」が活き、防災・減災につながっていきます。



## この冊子の活用方法

### Step1. 災害を「知る」

自然災害は、いつ発生するのか予測が付きません。いざというときに適切な判断ができるように、災害の正しい知識を身につけましょう。



- 水害（大雨・洪水・土砂災害）を知る ▶ P3 ~ P8
- 地震を知る ▶ P35 ~ P36

### ? Step2. 災害を「考える」

災害が起こったとき、どのような行動をとれば良いのか考えておきましょう。



- 水害（大雨・洪水・土砂災害）を考える ▶ P9 ~ P12
- 地震を考える ▶ P37 ~ P40

### Step3. 災害に「備える」

日ごろから安全対策やマップを確認しておくことで、災害が起こったときの被害を減らすことができます。



- 水害（大雨・洪水・土砂災害）に備える ▶ P13 ~ P14
- 地震に備える ▶ P41 ~ P42

## これまでのハザードマップ

この総合防災マップは、これまでに大和郡山市で作成した「防災マップ」、「地震ハザードマップ」、「洪水避難地図（洪水ハザードマップ）」を改訂し、ひとつにまとめています。

